



Rotary International District2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日17:30
■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話0742-33-8583
■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話0742-26-3300(代)
■会長：楠原忠夫 ■副会長：潮田悦男 幹事：橋本和典

発行日 / 2012年 9月 25日
2012-2013/11

Vol.34

No. 1617

hp: <http://naraomiya-rc.jp>
E-mail: info@naraomiya-rc.jp
2012-13年度当クラブテーマ

『活力あるクラブ作り』

国際ロータリー第2650地区

ガバナー 河本 英典

Bridge the Gaps



四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

本日のお客様

●ダンガル, イシュワリ さん (米山奨学生)

会長の時間

●元会員の西脇彰さんがお亡くなりになりました。享年80歳。西脇元会員は1982-1995年在籍されました。菅原町で産婦人科医院を開設されていました。クラブ事務取扱内規により、5年以上(在籍)ですので、クラブより供花をさせて頂きました。黙祷を捧げたいと思いますので、宜しくお願いいたします。(黙祷)

●現在私は地区のロータリー財団・新地区補助金委員会に属していますので、今年我がクラブは新地区補助金交付を奨学金事業で64万円(8,000ドル)頂きました。この新地区補助金交付の仕組みについて、本日は少し説明させて頂きます。配布しましたレジュメにありますように、補助金交付基準で奨学金の補助額と提唱クラブの自己資金拠出必要額とありますが、大学生の場合は1人当たり年間80万円以下です。但し、提唱クラブの自己資金拠出必要額は奨学金の20%以上とする。つまり、80万円貰おうと思ったら、クラブは最低でも20万円は負担しなければならないということです。うちのクラブでは今年、藤井奉仕プロジェクト委員長の尽力で、愛染寮の学生二人に40万円ずつ申請したんですが、少しカットされて地区からは32万円、クラブ拠出金として10万円で42万円。二人で84万円を新地区補助金制度 奨学金として支給しました。皆さんがロータリー財団月間に寄付して頂く年次寄付はクラブでは一人200ドル(16,000円)、地区から頂いたお金が64万円ですので、これを70名で割りますと、一人9,000円です。ですから、16,000円の内、9,000円地区

例会プログラム

第12回 9月 25日
通算1617回

1. 開会の点鐘 17時30分
2. ソング
「大宮ロータリーソング」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 卓話
食育ハブガーデン協会理事長
大阪樟蔭高等学校教育アドバイザー
田中 愛子 様
「奈良 千年の食育を考える」
6. 閉会の点鐘 18時30分

例会状況報告

第11回 9月18日
通算1616回

◎会員数	71名
◎出席規定免除者数	23名
◎出席義務者数	48名
◎欠席者	7名
◎出席者	54名
◎出席率	88.52%

第9回 9月4日
通算1614回の修正

◎会員数	71名
◎出席規定免除者数	23名
◎出席義務者数	48名
◎欠席者	8名
◎補填者	6+2名
◎出席者	64名
◎出席率	96.97%

から負担して頂いている訳です。ですから、折角ある制度ですので、この新地区補助金制度を申請しないというのは権利を放棄する事になると思いますので、次年度・小西年度も申請を宜しくお願ひしたいと思ひます。次年度はどうなるかわかりませんが、小西年度も新地区補助金制度をご活用されるよう頑張つて頂きたいと思ひます。簡単ですが、これで新地区補助金制度の説明を終わります。

委員会報告

社会奉仕委員会：宮西委員長

9月6日の献血協力事業につきましては、会員の皆様及び会員の社員様、本当にたくさんの方が参加して下さいまして、結局受付ベースで120名を超す方に受付して頂き、実際献血頂いた方は95名ということですが、多くの会員様に本当に御協力頂きまして有難うございました。それと、今回はクラブからブルーベリージャムを協賛品という事で、それも少し効果があったのかな、という気もしております。それと、矢追さんからお茶をたくさん頂きましてありがとうございました。

もう間もなく、秋の交通安全運動が始まります。いままで学園前ホールや100年会館で行われております決起大会に、会員の方に「ご参加下さい」と申し上げていたかと思うのですが、本年度につきましては、交通安全運動を別の形で社会奉仕委員会として携わりたく思っておりますので、今回につきましては、社会奉仕委員会のメンバー数名で行ってまいります、特別決起大会に参加して頂ける方は、21日（金）10：00～学園前ホールにて決起大会が行われますので、宜しくお願ひいたします。

長くなりましたが、本当に皆様の御協力、どうも有難うございました。今後とも宜しくお願ひいたします。

親睦活動委員会：谷川副委員長

先週13日（木）に第一回の親睦ゴルフを笠置ゴルフクラブで開催致しました。非常に天気に恵まれまして、21名の多くの方にご参加頂きました。結果ですが、優勝は中奥さん、2位は福本さん、3位が金星さんということでした。あと、前年度井上杯の取りきり戦もありましたが、中奥さんがダブル優勝となっております。今回は橋本幹事も久しぶりにクラブを握って奮闘して頂きまして、是非次回も頑張つて頂きたいと思ひます。次回は11月に予定しておりますので、是非多数の参加を宜しくお願ひします。

幹事報告

本日の報告は、入院に関する事ばかりですが、まず井上会員が本日、高の原中央病院に入院されました。明日手術だそうです。無事終わる事を祈っております。続きまして、佐川会員、楠木会員ご両名が天理よろづ相談所病院に入院されました。まだその詳細ははっきりと掴んでおりませんので、お見舞などはもう少しこの内容がわかってからして頂いた方が良くかと思ひます。どうぞ皆さんも健康にご留意されて元気でやっていってください。

米山奨学金授与

米山奨学生：ダンガル，イシュワリさん
学 校：帝塚山大学
月額奨学金：10万円



新入会員卓話 市田 富久夫 会員

本日は、新入会員卓話という時間をいただき誠に有難うございます。

お話の本題とはまるで関係ございませんが、私は現在、両奥歯にインプラントを入れる下準備中でございます。そこで、かみ合わせの事も踏まえまして、哀しくも下あごに仮義歯を入れております。これが非常に違和感のある物体でございます、考えてみますと髪の毛一本でも入れば気持ち悪いほど敏感な口の中に、これまでに無かった装置が入っているわけでありますので、この違和感も当然のことであると思っております。そんなわけで、自分に



にとっては非常に話にくい環境、すなわち皆さんにおかれましては、聞きづらい状況での卓話になってしまいますことを予めご容赦いただきたく存じます。もうかれこれ半年も歯の治療にかかっておりますが、6月に当クラブに入会させていただき、こちらにはなんとお三方もの歯科医院の院長先生がおられるということを知り、セカンドオピニオンは万全！と大変心強く思っております。

また、自身がそのような状況下にあるなか、大変興味をもって拝聴しておりました楠原会長の時間’口腔関連のお話、が最近ないのは、もしかして不評だったのかな？と心配するとともに、個人的には非常に残念に思っているところでございます。

さて、私の会社では会長と総務部長のお二人が元ロータリアンということでありまして、このたびの新入会員卓話にあたり、「どのような内容の話ですればいいと思えますか」と問いましたところ、「何でもいいけど時間内に話を収めんとアイツは話が下手やと永遠に思われるで」と、私が求める答えとはまるで違ったレクチャーをいただき、むしろプレッシャーのみを頂戴する羽目になりましたので、聞かなきゃよかったと後悔しております。

そこで何をお話ししようかと考えましたが、新入会員入会式の際に「趣味は仕事」として紹介いただきましたので、私の職業と入社から今日に至るまでのエピソードを少し加えながら、現在の職業において思うところなどをお話させていただきたく存じます。

私の職業分類は、土木技術コンサルタント業となっております、一般的には建設コンサルタントと呼ばれております。皆さんが、ふだん通勤や買い物などで通られる道路や橋、生活を自然災害から守る河川、ダムや堰堤、生活に必要な不可欠である水道や下水道施設、これらは国民共通の資産であることから「社会資本」と呼ばれます。建設コンサルタントの仕事内容は、社会資本を管理する行政のパートナーとして、計画や設計および各種調査を行い、併せて技術的な支援をするものであります。また、民間においては住宅地や商業施設、あるいは工場団地などの開発に関して専門知識を活用しながら企業の発展を助けると同時に助言や指導を行うものとしております。

欧米におけるコンサルタントの歴史は長く、はじまりは19世紀初頭のイギリスであります。19世紀初頭のイギリスといえば「産業革命」と思い浮かぶ方も多いと思いますが、まさにその産業革命に伴って大規模な社会資本の整備が必要となったことが発端であるわけです。当時の建設会社は、設計から施工までの一連を担当しておりましたが、それ以外に、設計に関する高い技術を持ち、事業者に対して利益になるように仕向ける中立的な役割が必要となりました。その役割を担う者がコンサルタントの始まりとされています。

コンサルティングの語源は、「相談にのる」ということであり、元々は知識・ノウハウを教授するという役割をもっておりますが、これが発展し、顧客の業務を効率化するための提案自体を売り物にする知識集団としてコンサルタント企業が生まれたわけであります。そのような歴史的な背景もあって、特に欧米におけるコンサル資格者の社会的評価は非常に高いものとされています。これに対しまして、日本でのコンサルタントの歴史は比較的浅く、昭和20年代前半、戦後の復興に際して膨大な業務量への対応が必要となり、徐々に民間技術力が活

用され始めました。その後、昭和30年代の高度成長期には、産業の発展と都市機能の急速な拡大に伴って建設コンサルタントの需要が急増しました。しかしながら、我が国におけるコンサルタントは今も行政の支援といった位置づけから抜け切れず、残念ながら欧米のような高い社会的評価は得られておりません。

先ほど、皆さんが使われる道路や橋梁、河川、上下水道を例に挙げましたが、建設コンサルタントと言っても、誰もが全ての設計を出来るということではございません。専門分野としては20の部門に区分されており、例えて道路を専門とする者が下水の設計を行うということはありません。道路設計はその部門の資格をもった者が担当するわけです。

新入会員入会式の自己紹介で、私の業務実績として挙げたイオンモール大和郡山などは、複合プロジェクトになりますので、測量、土質調査、環境調査、文化財調査、道路、橋梁、河川、上下水道、造園、都市計画といった10部門以上の技術者がチームを組んで取り組みます。私はこれらを統括したわけですが、私個人の専門分野は都市計画および地方計画でございます。

さて、私の会社は昭和42年に現会長の扇谷泰之により創業され、今年で45周年を迎えております。現在の社員数は約50名ほどの小さな会社ではありますが、県内同業社のなかでは最も古く、規模的にも ころうじて1位で推移しております。

私は、現在3代目としてこの7月から代表を務めさせていただいておりますが、創業者とは親族関係でも何でもなく、世間で言うところのプロパー社員でございます。創業20周年にあたる昭和62年、ちょうど奈良県の建設関連業界ではシルクロード博覧会の準備に忙しくしている時代に入社いたしました。恥ずかしながら、その頃の私はミュージシャンになりたいという無謀な夢を持っておりまして、夜な夜なギターをかき鳴らしておりましたが、今は亡き父親から「いい加減にせえ！」とこっぴどく叱られ「お前は扇谷の会社でポールを持つ以外に働くところはない」と、半ば強引に今の会社へと放り込まれたわけです。したがって、当時は自分が進んでこの職業を選んだというわけでは決して無かったということがあります。

随分と時をさかのぼりまして小学生のころ、私は大和郡山に住んでおり、毎日、暗くなるまで野球をしておりました。その広場にある日突然バリケードが張られて、入れなくなりました。子供の私からすれば一夜にして遊び場を失ったわけでありまして。当時、小学5年生の私は本当に悔しくて、その怒りのすべてを作文に記しました。まだ汚れ知らずの純粹無垢であった私は、誰か心ある人がその作文を読んで 遊び場を返してくれるかも知れないと本気で考えたわけでありまして。

後に その作文は校外のコンクールに出展され、受賞をいただくことになりました。とは言っても、バリケードが外れることは永遠にありませんでしたが……。

今は分かりませんが、私の小学生当時は「道徳」という授業がございまして、その教材に「なかま」という本がありました。小学6年生の時、その「なかま」という教科書に、少々添削された私の広場の作文が掲載されました。つまり、私は小学5年生の時に自分が書いた作文を、6年生の道徳の授業で習うという不思議な経験をしたわけですが、やがて、その10年後に遊び場を失った真実を知らされることとなります。それは、入社間もなくのことでした。先輩社員と打ち合わせに行った際に、「おい、ちょっとここで車を止めてくれ」と言われたのが、当時、バリケードを張られた広場があった場所でした。そこはすでに道路と公民館、その横の余った土地は小さな公園になっておりまして、私は少し嫌な気持ちで、その先輩社員に「ここに何かあるんですか？」と聞きますと、「この道路と公園は10年ほど前に僕が設計した」と、その先輩社員が自慢げに言う訳です。しかも、「工事はお前の親父んとこの会社がした」と……。ショックでした。私は、「あんたらやったんか！あの時俺の遊び場を奪ったのは！バリケードを張ったのは！！」と、心のなかで叫んだのでございます。そのようなわけで、私は入社当時この仕事を進んで選んだわけではないどころか、むしろ嫌いでした。その後、仕事が趣味になるとは到底思いもせず、ましてや後にその会社の代表になるなんてことは夢にも思っていない22歳であったわけです。

さて、私の22歳。入社初日は夕方6時に先輩社員から「おい、定時過ぎたからもう帰れよ！」と言っておりましたが、2日目、夜の8時になっても10時になっても声が掛からない。それどころか、夜の10時に出来上がった図面を先輩社員の席に持っていきますと、次の作



業指示がなされます。一体いつになったら帰れるのかな？と思いながら黙々と作業しておりますと、夜中の1時5分前に「今日はここに泊まれ」と、「ビジネスホテルたかつじ」の地図を渡されるわけです。私は「家が近いし車通勤でするので自宅に帰ります」と言いますと、「明日の朝、起きられんだらあかんやろう、朝8時に電話で起こしてやるから心配するな。それより1時までにはホテルに入らんとフロントの人に叱られるから走っていけ！」と言うわけです。一歩間違えれば、どこかのヨットスクールみたいな

なものでした。入社当時とはとにかく残業と休日出勤が続き、時々自宅に寝に帰るといいう日々が続いておりました。それでも良いこともあり、そんな頃は残業代も青天井でしたので、お給料だけは異常に多かったのですが、そのお金を使う時間が無いというわけです。ですから、入社して1～2年の者の大半は高級車を購入していました。今は設備が進化してそのようなことはありませんので、宮西さん、営業に来ていただいても無駄かと思えます。ごめんなさい。

さて、現在の仕事を進んで選んだわけでもなく、むしろ嫌いであった私がこの職業でやっへ行こうと決めた理由は、やはり現会長の扇谷泰之という人物との出会いが大きかったのですが、継続して業界でやってこられたのは、顧客のおかげであると思えます。現会長と私にはいろんなエピソードがあります。美談もあれば泥臭い話まで数えるとキリがないわけですが、この人について行こうと思ったのは入社2年目の春の出来事でした。細かい内容は割愛しますが、ある業務の打ち合わせの際、私は役所の担当と言いつ争いになりました。しばらく言い争いが続いた後、担当がどこかへ電話をいたしました。その相手が当時の扇谷社長であったわけです。扇谷は元市役所の職員で、後で知ったのですが、その担当とは友達だったようです。当時46～7歳の扇谷はパンチパーマのイケイケで、ご存じの方もおられると思いますが、もう言葉で表現すると放送禁止ワードに引っ掛かるほど怖い存在でございました。当然ながら電話を代われという流れになりまして、「お前は何を抵抗しとるんや！」と一喝されました。私はおそらく震えていたと思えます。震えながら「役所の担当が言ってることは筋が違いうように思う・・別の方法を考えるべきです」と一言発するのが精一杯でした。すると、扇谷が「そうか、現場にいるお前がそう思うんやったら、その判断はきっと正しいんやろう。社長も同じ考えですと役所の担当に言うとき」と、入社2年目の私に対して信じられない反応が戻ってきたわけです。その時、その一言で私は救われ、この人について行こうと思ったわけでありませう。

ちなみにこの話、社内の誰に話しても信じて貰えませう。また、扇谷本人も記憶にない様子ですので、もしかすると私の夢の中の話だったのかも知れませう。なんせ当時は睡眠不足でしたので。夢と現実が分からなくなっていたのかも知れませう。

さて、先ほど継続して業界でやってこられたのは顧客のおかげと申しませう。これに関しては私の会社のHPに述べておりますので、機会があれば見ていただきたく存じませうが、一言で言えば自分が手掛けた仕事でお客さんが喜んでくれる瞬間が、自分自身のやりがいと喜びにつながり、その日々の積み重ねが何よりも楽しかったということでありませう。そういうわけで仕事が趣味と言わせていただいたわけでありませう。

さて、最後になりますが、私の職業において避けては通れない災害対策と対する私の思いについてお話しておきたいと思えます。2011年3月11日14時46分、東日本大震災という大規模地震災害が発生しました。その地震規模はマグニチュード9.0。日本観測史上最大。1900年以降、世界的には4番目に大きな地震でありませう。私は地震の専門家でも何でもありませんので、学校で習った知識しかございませうが、地球の陸地や海底は、大きな板のような岩で覆われています。これがTV等でよく耳にするプレートと呼ばれるものです。海のプレートは少しずつ移動し、陸のプレートの下に沈み込みませう。2つのプレートの境界がある海溝付近が巨大地震の棲家となります。ただし、同じプレート境界でも、普段はがっちり固定して動かず、ある時、急にズレるようなところで巨大地震を起こす。その一方で、普段から境界面がスルスルと動いているようなところでは大地震は起こらないという考

えが大規模地震発生の説でありました。土木工学や構造力学も同じですが、地震学というのも、過去の事例や経験則に基づいて行われます。東北沖の日本海溝は、北は「がっちり型」で、南は「スルスル型」。この全体が連動する巨大地震は起きないというのがこれまでの発生仮説であったわけです。実際には2004年に発生したマグニチュード9.1のスマトラ沖地震でこの発生仮説は崩れていたわけですが、かといって、このたびの地震発生予測はできなかったと思います。

ほんの少し前の話です。どなたかが「コンクリートから人へ」というスローガンを唱え、国民の大いなる支持を得ました。一方で建設関連業界の者は「人を守るのもコンクリートだ」と口を揃えて言うておりました。斯く言う私もその一人であります。平成22年度の「事業仕分け」により小中学校の耐震補強予算が3分の1程度に削減され、インフラの耐震化は取りやめになりました。確かに建設業界はいろんな意味で行き過ぎた点があったと思います。ところが、コンクリート=悪とし、公共事業に対する「無駄」と「必要」の綿密な区分を行わず、ひとまとめで、手当たり次第に予算を削ってしまった。その結果、国民の安全を守るための公共事業、防災対策事業までも安易に削ってしまったことは悲劇であり、また残念に思います。先に言いましたとおり、私は地震の専門家ではありませんので、地震調査研究費に年間120億円のお金をかける意味も必要性も分かりませんが、少なくとも「現時点において地震発生予測は出来ない」ということを前提とした防災対策を講じておく必要があるという点だけは専門家として申し述べておきたいと思います。

昨年末、あるスーパーゼネコンから、東北への人材派遣を依頼されたことを受けて、「3か月間だけ行って来い」と40代の社員を陸前高田の方へ派遣いたしました。3か月間が経ち、その社員からもう少し東北に残りたいという連絡がありました。さらに3か月後、「この状況を放置して奈良には戻れない。10年かかるか15年かかるか分からないけれども、復興の目途が立つまで残りたい」との連絡がありました。概ね地震とは無縁である奈良の人材が現地でのどのようなサポートができるのか全く分かりませんが、派遣した社員の思いに少々胸を打たれ、即座に東北事務所を開設いたしました。

地震のみならず、昨今は、局地的なゲリラ豪雨も頻繁に起こっております。局地的と言いますのは、新大宮は晴れていても生駒では大雨といった状況が実際にあるわけです。それらは、これまでの雨水指針では考えていなかった現象です。この夏、九州を襲った豪雨は24時間雨量で507ミリ。507ミリと言えは、平年の7月1カ月分の平均雨量に相当します。つまり、ほぼ1カ月分の雨が1日で降ったということです。また、奈良県内では昨年、台風12号災害によって大きな被害を受け、未だ復旧途中の状況にあります。災害を予測することも、止めることもおそらくはできません。ただし、災害を想定し、防災対策を講じることはできると思います。東日本大震災、九州の豪雨、台風12号災害、それらのすべてを想定外という言葉で片付けて良いのか？という点に関しては、大いに疑問に感じているところがあります。

建設コンサルタントの使命として、技術士法の冒頭には「専門的な応用能力を発揮して社会に貢献する」という旨が謳われております。今後とも地域社会をはじめとして、あらゆる場面で生業を通じ、社会へ貢献する企業を目指したい。そのように考える次第です。



(2012~2013) 奈良大宮ロータリークラブ第1回親睦ゴルフコンペ

平成24年9月13日(木) 場所 かさぎゴルフ倶楽部

参加者

中村信清 君、有井邦夫 君、金星 昇 君、富川 悟 君、清岡正教 君、小西敏文 君、中條章夫 君、楠下重郎 君、橋本和典 君、福本良平 君、石野捨雄 君、武藤廣茂 君、潮田悦男 君、渡辺英孝 君、山本尚永 君、増井義久 君、大塩栄作 君、西口栄一 君、野崎隆男 君、中奥雅巳 君、植村将史 君、谷川千代則 君
懇親会：楠原忠夫 君



優勝：中奥雅巳 君

準優勝：福本良平 君

3位：金星 昇 君



前年度井上杯取りきり戦優勝（マンスリー）：中奥雅巳 君



- 楠原忠夫 君 市田さん 本日の卓話宜しく申し上げます。9 / 15 (土) 会員増強地域別会議 宮西地区増強副委員長お疲れ様でした。
- 橋本和典 君 昨日、敬老の日、妻の両親のもとに全員集合。幸空(みそら)ちゃん(1.5才)から義父(90才)まで総勢11名が集まりワイワイガヤガヤ。年老いた両親には最高の若返り薬でした。
- 市田富久夫君 本日は新入会員卓話の機会を戴きありがとうございます。優しい目でみてやって下さい。
- 西口栄一 君 結婚記念日のお祝いありがとうございます
- 北神徳明 君 連続欠席のおわび
- 武中洋勝 君 敬老の日の昨日、娘の手作りケーキでお祝い、両親もいつにも増してニコニコ
- 矢追家麻呂君 ニコニコ協力
- 今崎和民 君 ニコニコ協力
- 柴田直三 君 ニコニコ協力
- 濱田英資 君 ニコニコ協力
- 森 完二 君 ニコニコ協力
- 堀内眞治 君 ニコニコ協力
- 平方貴之 君 ニコニコ協力
- 倉田智史 君 ニコニコ協力

例会変更のお知らせ

10月

- 京都山城ロータリークラブ■
 - ・10月17日(水)・・・定款第6条第1節(C)により、休会。
 - ※ビジター受付は行いません。
- 奈良西ロータリークラブ ■
 - ・10月11日(木)・・・定款第6条第1節(C)により、休会。
 - ※ビジター受付は行いません。
 - ・10月25日(木)・・・秋の家族親睦移動例会の為、変更。
 - ※ビジター受付は17:30-18:00まで奈良ロイヤルホテルフロント横にて行います。
- 平城京ロータリークラブ ■
 - ・10月18日(木)・・・河本ガバナー公式訪問のため、18:00～に時間変更。
 - ※ビジター受付：通常の例会受付になります。

次週の例会

平成24年10月 2日(火)
クラブ討論会②(職業奉仕担当)